



ロータリーを通じて 世界理解と平和を

WORLD UNDERSTANDING & PEACE THROUGH ROTARY



会長 新穂光一郎 幹事 藤川享胤 副会長・クラブ奉仕 内山喜一 職業奉仕 高岸三雄 社会奉仕 川村徳男 国際奉仕 斎藤利男 青少年奉仕 佐藤順治

出席報告：会員 71 名 出席 58 名 出席率 74.65 % 前回出席率 81.69 % 修正出席 61 名 確定出席率 85.92 %

会員スピーチ

私を変えたスキー

秋野 忠君

私を変えたスキー、と云う事でのスピーチに、貴重な例会の時間を与えられました事に恐縮致しております。スキーを始めたからと云って、私自身が、何も大層変わったものでもありませんが、スキーを通して得た体験を話してみたいと思います。

先ずその前に、スキーの歴史ですが、スキーはスカンジナビア地方に始まり、雪原の交通や、狩をする人々の生活器具として使用されていましたが、生活様式の変化と共に、スキーは衰退の道をたどりつつありましたが、1860年にノルウェー王室が、スキーの勝者に賞を与えた事から、生活の用具としてのスキーからスポーツ的な発達に絡につき、やがては国家的なスポーツとなったわけです。

中部ヨーロッパでスキーと云えば、ノルウェー伝来のものであり、ノルウェーが全てのお手本であり、ノルウェー式が一般を支配していたのです。しかし、アルプスの急峻な山々は、ノルウェー流のスキー技術を、そのままの形では受けつけなかったのです。

1888年～1889年にノルウェーの極地探検家として知られるフリチョク・ナンセンが「スキーでグリーンランドを横断」一挙にスキーへの関心を喚起し、ナンセンが近代スキーの父と云われております。当時オーストリアのマチアス・ツダルスキーが、そのニュースを知り、深い関心を喚起させられ、1890年～1896年迄の6年6冬に亘って、アルプスのきわめて急な斜面を滑降する技術を研究しました。彼はその間、幾多の試行錯誤の末、2.4mもあったノルウェー伝来のスキーを1.8mに改良し、全金属製の縮め具を考案し、長い一本杖を採用すると共に、「シュテム」と云う用語を用い「山岳スキー滑降術」を確立して世に公表しました。ツダルスキーは山岳スキー、いわゆるアルペン・スキーの技術的先駆者であり、アルプスはスキーの第2の故郷となったのです。

日本に入ったスキー術はツダルスキーの弟子である、オーストリアのテオドル・エドレル・フオ

ン・レルヒ少佐が、1911年に新潟県高田の第13師団へ配属した時にレルヒ少佐が持ち込んだ2台のスキーが日本で初めての滑りとなりました。以後数々の変遷を得て今日の近代スキーとなったと云われています。

1956年のコルチナ・ダンペッツオでの第7回冬期オリンピックでは、猪谷千春が、アルペン競技に於いて銀メダルを取ったのは、スキーファンのみならず、日本全国民が記憶に新しいところです。以来競技スキーの技術の向上と共に、全国的なスポーツとして定着するに至りました。

スキーの歴史はこれ位にして、私のスキーについて述べてみたいと思います。40の手習いともいいますか、まったく2年前に始めたようなわけで、語るには誠におそまつなものです。

山に雪とは実に似合っているものだと思います。勿論雪の載っていない山も景観に値いしますが、冬山のきびしさ、清烈さ、雄大さにはすっかり心を奪われてしまいました。スキーは、技術をきっちりマスターしないとケガにつながるものですから常に緊張感と恐怖感がつきまとうものでした。しかしこの感覚は他のスポーツには味わう事の出来ない相矛盾した爽快感を満喫させてくれるすばらしいスポーツではないでしょうか。

会員の津田先生とは、去年以来何度か山でお会いする事がありました。非常にダイナミックな滑りをされている姿を見るにつけ、若者だけのスポーツでは決してないと思うと同時に、健康である事の素晴らしさを感じました。

普段健康と云う事にさげ氣にも留めていなかった私ですが、スキーを始めた事によって常日頃の健康管理と体力作りに関心する近頃となりました。そして何よりも私にとって、貴重に思えた事は、20代、30代、40代、50代と多くの人達を知り得た事です。又その多くの人達と様々な事を語り合い、スキーの魅力に益々取りつかれました。スキーは若者だけのスポーツのように見られますが生涯スポーツとしての要素が多分にあると確信しています。会員の皆様も健康面ではそれぞれ留意

庄内に空港を建設しましょう

されておられるでしょうが、激務なお仕事の合間に是非スポーツに親しむ機会を数多く持たれたらいかがでしょう。

3月も半ばになって来ますと、雪も少なくなり何かしら一抹のさびしさを感じます。しかし、これからが夏スキーのシーズンに入るわけでもた雪を求めて、あのダイゴ味を味わいに山へ登る事でしょう。

スキーを始めた事によって、自然を知り、人を知り、改めてスポーツの素晴らしさを知り、自身の内にある何か、大きく変わろうとしているのを感じています。

注、文中スキーの歴史については、「スキージャーナル」版を参照させて頂きました。



退会ご挨拶

渡会正三君

4月1日付校長交代します。高専は5年間教育で校長は5年以上おった人間はあまり芳ばしくない。S51年10月1日任命ですから昨年9月30日で5年。しかし今年の卒業式はと半年間延長しての3月で退官します。

ロータリーは石黒先生のすすめにて入会しました。ロータリーの精神とは「職業を通じて社会に奉仕する」私の職業を通じて社会の庄内地区、そして山形県への「高専の地域との連帯」ということを強力に打ち出し他の高専よりも先手を打ち、次の校長にも申し送ります。

ロータリーの精神は「プロフェッショナルの集団」でありプロとは自分自身の職業に対する「腕なり頭なり」に自身を持っている。甘えの精神で政府の補助金を欲しいとか云わんで、自分の力で何んかやる。自分のやることは金のためでなく必ず社会のためにつながる。このような人間の集団である職業を通じて社会への奉仕、プロの意識そのものである。私もロータリー精神を拝借して強力にプロになれと言っています。

東京から鶴岡のプロ集団の方々が大いに活力を出せば自ずとロータリーも栄えると思います。

会長報告

- ローターアクトクラブの退会者が多い。退会の理由、今後の対策について、ロータリアンの協力体制として増員に力を貸そう。事業所の20才～28才の適当な方ご推せんを乞う
- 減会正三会員 3月末退官し東京に帰る。4年余ご苦勞様でした。
- 庄内空港建設促進キャンペーンの原稿依頼された。

手塚 林 治 君



鶴岡ロータリークラブに入会して早や14年目を迎えた。月日のたつのは早いものである。現在まで色々とクラブの行事や、ひさごやが会場だった当時は懐しく思い出される。

私は今になってロータリーの事について勉強不足には我乍ら後悔している始末である。私にとって今は出席だけは欠かさずやるように心がけているつもりで、来年の6月で13年の皆出席をする事になるので、これだけは私の取り柄な気がするのである。クラブには何も力になる事が出来ず申し訳ないと思っております。

幹事報告

- 例会場変更 立川ロータリークラブ 3月25日(木) 12時15分 庄内ドライブインにて。
- ロータリー米山記念奨学寄付金納入明細表が参っております。ご希望の方は事務局まで。

鶴岡ユネスコ協会から会員各位へ

ユネスコ協会長 三井 徹 君

鶴岡ユネスコ協会56年度最終例会を下記の通り開催しますのでご出席いただけますようご連絡申し上げます。

日 時 昭和57年3月26日(金)

午後7時～9時まで

場 所 商工会議所4階第一和室

議 題 ○東北ブロック研究会報告

○会計概算報告

○その他

スマイル

鶴岡西R.C 佐藤成生君、原田行雄君

ビジター

佐藤 衛君一長女律さん、鶴岡南校合格おめでとうございます、

情報委員会

スマイルについて

誕 生…会員 3,000円、奥様 2,000円

早 退… 300円

無断欠席… 1,000円

皆 出 席… 1,000円以上

(今週の担当者 早坂重雄)